



「邪馬台国への道」の御紹介

(株)エヌ・シー・エム
代表取締役 柳田 聡



なぜ、ここに出て来たか

経緯

管轄

- **国土交通省**国土計画局総務課国土情報整備室

GISアプリケーションのアイデアの募集

- 一般家庭 教育分野におけるGISアプリケーション開発事業

事業の目的

- GISの普及の促進

スケジュール

- 募集締め切り: 2002年 10月 18日 (金) 午後 5時
- 採択アプリ発表: 2002年 11月 14日 (木) 午後 2時
- 納品: 2003年 2月 28日 (金)
- 一般公開: 2003年 3月 31日 (月)

入手法

- なるほど便利! GIS工具箱 :<http://w3land.mlit.go.jp/nrpb-gisbox/>

弊社の参画

GISアプリケーション「**邪馬台国への道**」の提案 (教育分野)

採用

開発、納品、一般公開



何を、これからお話しするのか

邪馬台国論争とは何か

GISアプリ「邪馬台国への道」の機能と内容

何を考えつつ、このGISアプリを開発したか

このGISアプリは、一体、教育に使えるのか、
使うとしたらどうすれば良いのか



邪馬台国論争とは 魏志倭人伝内の記述

表 1:旅程の記述 表形式

番号	区間の終点	原文(注1)	書き下し文(注2)
1	狗邪韓国(くやかんこく)	從郡至倭、循海岸水行、歷韓国、乍南乍東、到其北岸狗邪韓国、七千餘里	郡從(よ)り倭に至るには、海岸に循(したが)いて水行し、韓国を歴(へ)て、乍(たちまち)南し乍東す。其(そ)の北岸狗邪韓国に到るには七千余里なり
2	対馬国(つまこく)	始度一海、千餘里至對馬国	始めて一海を度(わた)る千余里、対馬国に至る
3	一大国(いきこく、注3)	又南渡一海千餘里、名曰? 翰海、至一大国	又、南一海を渡る千余里、名づけて? 翰(かん)海と曰う。一支国に至る
4	末盧国(まつらこく)	又渡一海、千餘里至末盧国	又、一海を渡る千余里、末盧国に至る
5	伊都国(いとこく)	東南陸行五百里、到伊都国	東南陸行五百里、伊都国に到る
6	奴国(なこく)	東南至奴国百里	東南奴国に至るには百里
7	不弥国(ふみこく)	東行至不弥国百里	東行不弥国に至るには百里
8	投馬国(つまこく、とまこく)	南至投馬国、水行二十日	南投馬国に至るには水行二十日
9	邪馬台国(やまたいこく)	南至邪馬台国、女王之所都、水行十日、陸行一月	南邪馬台国に至る、女王の都(みやこ)する所なり。水行十日陸行一月

注1:原典是北京の中華書局出版の三国志。但し、旧字体を改めるなど一部修正している。 邪馬台国はどこにあったか」久保田 穰 プレジデント社 1997/9/23 より引用。

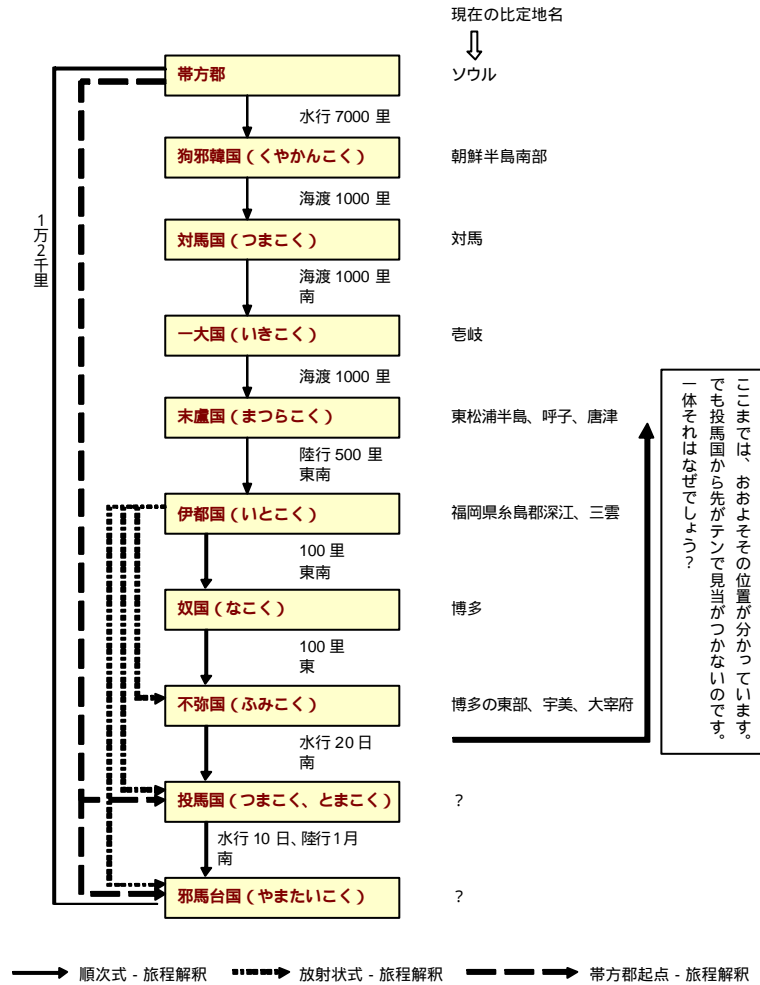
注2:「魏志倭人伝」山尾幸久 講談社 1980/6/15より引用し、旧字体を改めるなど一部修正している。

注3:一大国是一支国であると言つ説もある。



邪馬台国論争とは 旅程を図示すると

図1：旅程の記述：図形式





邪馬台国論争とは : 主要な論争点その1

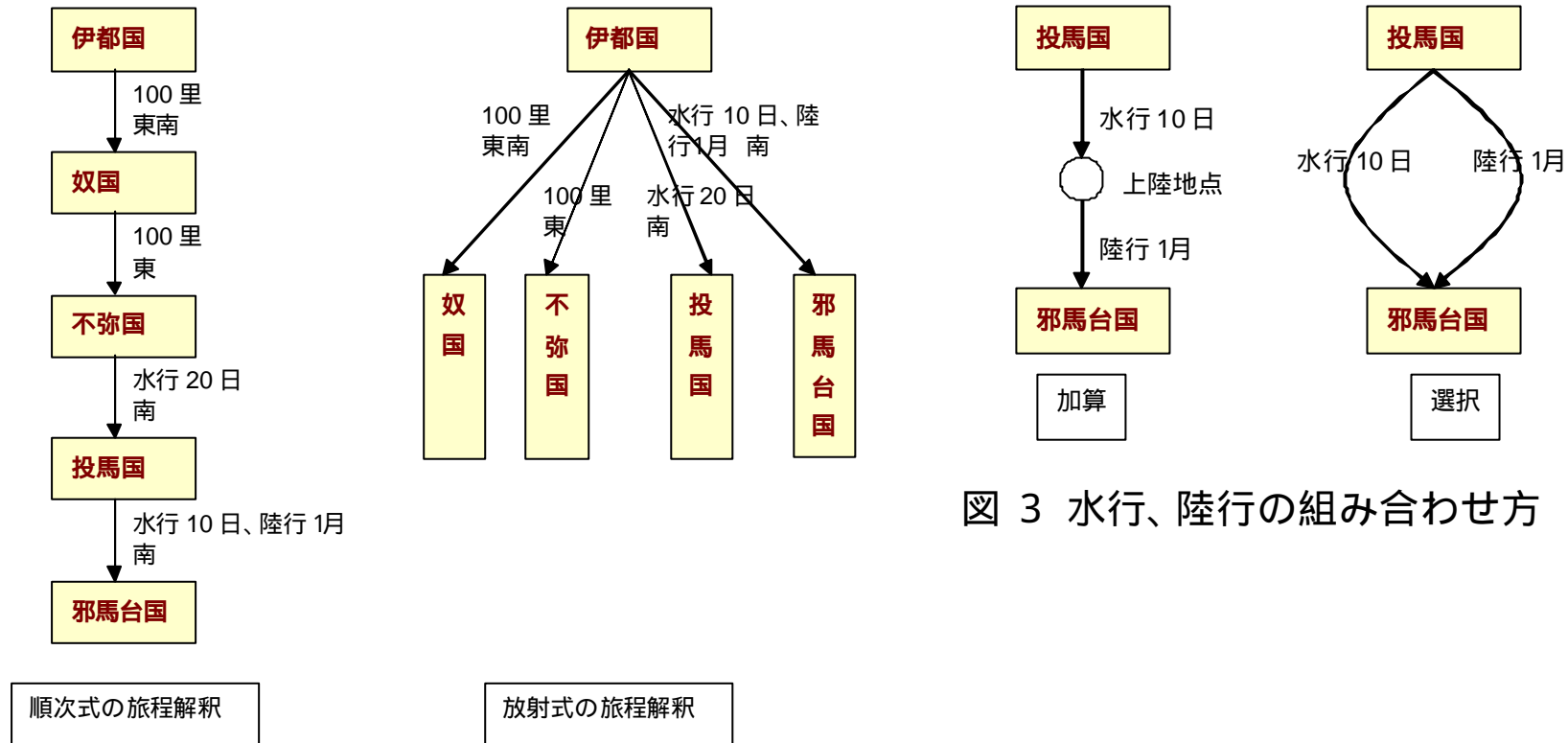


図 3 水行、陸行の組み合わせ方

図 2 主要な論争点 順次式と放射式



邪馬台国論争とは : 主要な論争点その2

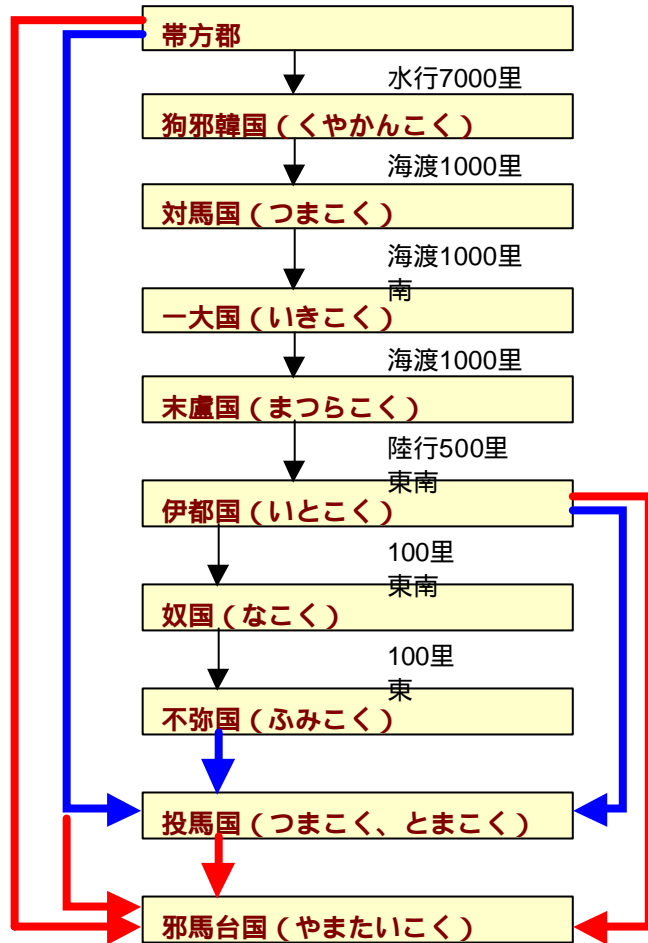


図 4 水行、陸行の距離の起点

地理的命題に関連する論点

- ・1里は何mか
- ・水行 1日は何 kmか
- ・陸行 1日は何 kmか
- ・方位は信じられるか
- ・萬二千里は信じられるのか

その他の論点

- ・魏の使いは邪馬台国に行ったのか
- ・邪馬台国か邪馬壹国か
- ・戸数の表記は信じられるか
- ・三角縁神獣鏡は卑弥呼の鏡か

水行20日
南
水行10日、陸
行1月 南



邪馬台国論争とは :なぜ決着が付かないのか

資料

不足

- 文献の少なさ (魏志倭人伝だけ)
- 決定的な考古学資料の欠如

虚偽 (我々の常識的解釈との不整合)

- 現実の日本地理との矛盾
- 資料間の矛盾
- どこかに嘘、盲点がある
- 疑いだしたらきりが無い

解答としての学説

多様な解釈

- AかBかだけでなく AかつBと言う解も有り得る
 - 例 :近畿大和と九州説の折衷案

弱点

- どの解も弱点を持つ
 - 例 :近畿説の方位問題

論争 :仁義無き闘い

例

- 仮説の上の論議の展開
- 都合が悪い証拠の無視
- 感情的表現、罵倒

現象

- ルール無きデスマッチ
- みーんな自分勝手
- あー言えばこう言う状態



GISアプリ 邪馬台国への道」とは :全体構成

導入編

目的 :なぜ邪馬台国の所在地が五里霧中なのか、そのメカニズムをGISを用いて伝える。

形式 :HTMLヘルプとGIS画面の並存 (意識的には前者が親)

主要機能 :国別分布表示、仮想ルート作成、萬二千里円表示

応用編

目的 :今まで先人達は、邪馬台国の所在地について、どのような議論を行って来たのかをGISを用いて伝える。

形式 :GIS画面のみ

主要機能 :新規学説の作成、方位・距離View、ルートの形状編集、学説照会

発展編

目的 :邪馬台国所在地論争の調査を通じて私を感じたことを総括する。

形式 :HTMLヘルプ

主要機能 :ドキュメントビューのみ



一体、教育に使えるのか

消極論 教育への利用の阻害要因

- ・邪馬台国論争への基礎知識の必要性
- ・主観的な開発
- ・見せ方の難解さ
- ・伝えたい概念の難解さ

積極論 多様な教育への利用効果

- 邪馬台国論争への理解
- 地理的感覚の育成
- 歴史、古代史への興味の喚起
- 研究者の一流の生の論争への接触 (大人への背伸び)
- 人間の知恵の素晴らしさの実感
- 論争の手法に対する知見
- 論争スタイルへの批判能力の取得
- 論理力の構築 (自分なりの論争スタイルの構築)



教育に使うとしたらどうすれば良いのか
(自問自答の勝手な推測ですが・・・)

対象学生と教育効果の整理

だれに、どこまでを教えるのか、伝えたいメッセージ
は何かをきちんと整理する

良き副読本の作成

教師の方が、最小限の労力で授業に使えることを
支援するための副読本の作成



付録 私が主に利用した文献一覧

番号	タイトル	著者	出版社	出版年月日
1	邪馬台国の位置と日本国家の起源	鷲崎弘朋	新人物往来社	1996/9/20
2	邪馬台国論争99の謎	出口宗和	二見書房	2000/1/25
3	邪馬台国論争	岡本健一	講談社	2003/1/6
4	邪馬台国はどこにあったか	久保田 穰	プレジデント社	1997/9/23
5	邪馬台国	榎一雄	至文堂	1967/6/30
6	卑弥呼	富来隆	学生社	1972/7/15
7	まぼろしの邪馬台国	宮崎康平	講談社	1967/5/20
8	魏志倭人伝二〇〇〇字に謎はない	相見英咲	講談社	2002/1/25
9	邪馬台国論争の盲点	牧 良平	秀作社	2002/10/1
10	地名学」が解いた邪馬台国	楠原佑介	徳間書店	2002/2/28
11	邪馬台国論争	原田大六	三一書房	1975/7/31
12	邪馬台国基本論文集	佐伯有清	創元者	1981/7/20
13	邪馬台国基本論文集	佐伯有清	創元者	1981/12/10
14	邪馬台国基本論文集	佐伯有清	創元者	1982/7/10



付録 参考URL一覧

邪馬台国への誘い (たーさんの部屋・1)

<http://www.real-unet.ocn.ne.jp/tasan/yamatai/>

邪馬台国の位置と日本国家の起源

<http://member.nifty.ne.jp/Washizaki/>



お別れ



ご清聴有り難う御座いました